

豊岡市出石地域福住地区

# 福住ふれあい協議会 地域づくり計画



2023年3月

## はじめに

### 『夢と希望 あふれるまちづくり いつまでも住み続けたい福住地区』

地域の思いをテーマに掲げ 2014 年新しいコミュニティづくりへの取組がスタートしました。福住地区では、2年間の準備期間を得て、平成 29 年(2017 年)2 月に設立総会を開催し、「福住ふれあい協議会」として、初めの一步を力強く踏み出しました。

福住地区は従来、地域活動(公民館活動)の盛んな地域でした。そこで、これまでの公民館活動を基盤とし、人づくり、地域づくりをはじめ、防犯・防災・福祉的な分野を加味しながら新たな事業計画作成し、活動を推進する部、委員会の再組織化を図り、様々な取組を進めてきました。

しかし、少子高齢化、人口減少の波は当地にも及び、人と人との繋がりを希薄なものにし、これまで通りの地域活動を継続していくことを難しくしています。

また、福住ふれあい協議会として新たにスタートしたものの、どこか各事業の常態化が目立ち、地域づくりやコミュニティ活動を進めていく上で、いくつもの課題があることが浮き彫りになってきました。同時に、このことは、課題解決の為に、新たな持続可能な地域づくり計画の策定が必要であることを物語っています。

そこで、区長会や福住ふれあい協議会の役員を委員として、「新しい地域づくり推進会議」を設立し、問題点の整理、改革の方向性、今後の活動方法等を協議することにしました。

なお、推進会議等の推移、協議内容等は本誌の報告のとおりですが、事業が終わるたびにお寄せいただいたご感想、中学生以上の全地域住民のアンケート、推進委員さんを核としてワークショップによる各方面からの意見等をいただき、改革へ向けての方向性が少し打ち出せたのではないかと考えています。

計画書の作成に当たっては、一般社団法人「ちいきのて」の皆様大変お世話になりました。改めてお感謝申し上げます。地域の皆様のご協力の下、計画書をお届けできたことに感謝いたしております。

まだまだ見えていない課題も多くあります。2~3年後、5年後、さらには 10 年後も地域活動の盛んな福住区として活動が継続していくことを願っています。



福住ふれあい協議会 会長 齋藤義規

# 目 次

1. 福住ふれあい協議会 地域づくり計画策定の背景

2. 福住地区の概要

3. 福住地区の現状と資源・課題

4. 取り組む活動や事業について

5. 福住地区の将来像

6. 今後の課題について

7. 参考資料



## 1. 福住ふれあい協議会 地域づくり計画策定の背景

平成 29 年 2 月に設立した福住ふれあい協議会は、「夢と希望 あふれるまちづくり いつまでも住み続けたい福住地区」を掲げ、3つの部会を中心としながら地域づくりに取り組んできました。

特に、公民館事業を継承しながらの人づくりに関する事業や地域の文化に関する事業について、たくさんの地区の方にご協力をいただきながら進めることができました。

一方で、地域コミュニティづくりでは、人材や文化などの地域資源の活用と共に、地域課題の解決に向けた活動についても取り組むことが必要であり、そのニーズ調査を行うためにアンケート調査なども実施してきました。

これらを踏まえ、これまで約6年取り組んできた活動を活かしつつ、コミュニティ組織の体制や状況が変わっても、継続的な地域課題解決や地域資源の活用を行っていけるよう、地域づくり計画を策定することとなりました。

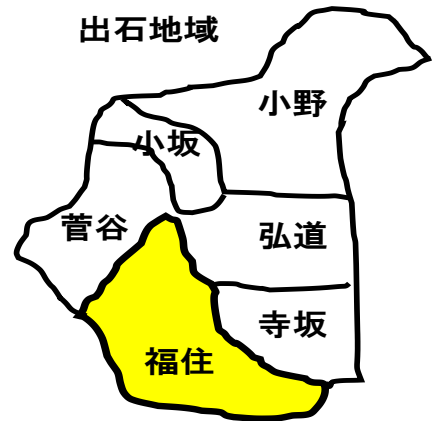
策定にあたっては、10回の会議、1回の中学生以上アンケート調査、4回のワークショップを以下の通り実施し、内容を取りまとめました。

日 程	内 容
令和 3 年 4 月 30 日	第 1 回推進会議 組織確立 計画 (4/23)
5 月 28 日	第 2 回推進会議 新しい地域づくりについて
6 月 24 日	第 3 回推進会議 住民アンケートの内容について
8 月 5 日～	アンケートの実施 配布 回収 集計 分析
10 月 11 日	第 4 回推進会議 アンケートの分析結果の考察
10 月 25 日	アンケート集計・分析結果を全戸配布
11 月 29 日	第 5 回推進会議 第 1 回ワークショップの開催
令和 4 年 3 月 19 日	第 6 回推進会議 今年度のまとめと次年度への引継
6 月 1 日	第 7 回推進会議 第 2 回ワークショップの開催
8 月 31 日	第 8 回推進会議 第 3 回ワークショップの開催
9 月 9 日	第 9 回推進会議 第 4 回ワークショップの開催 (兼:市長との意見交換会)
令和 5 年 2 月 27 日	第 10 回推進会議 計画についての協議
令和 5 年 3 月 25 日	計画書の全戸配布

## 2. 福住地区の概要

- 人口:1,432人
- 世帯数:546世帯
- 集落数:9
- 高齢化率:36.1パーセント
- 小学生:85人
- 幼稚園児:17人

2022. 4. 1



福住地区は出石町の南西部に位置し、「福住」、「鍛冶屋」、「中村」、「坪口」、「榎見」、「和屋」、「奥山」、「百合」、「上野」の9つの行政区からなっている。

自然豊かなこの地域はその特性を生かした様々な催し物が開かれている。

春には桜を眺めながら抹茶をいただき、6月には奥山川沿いをほたるが乱舞する。夏には愛宕の火祭りで豪快な火振りが行われ、秋には、区民総出の運動会。また、豊穡への感謝として各区の神社で祭事が営まれる。更には、三基のだんじりが出石の町まで繰り出す。

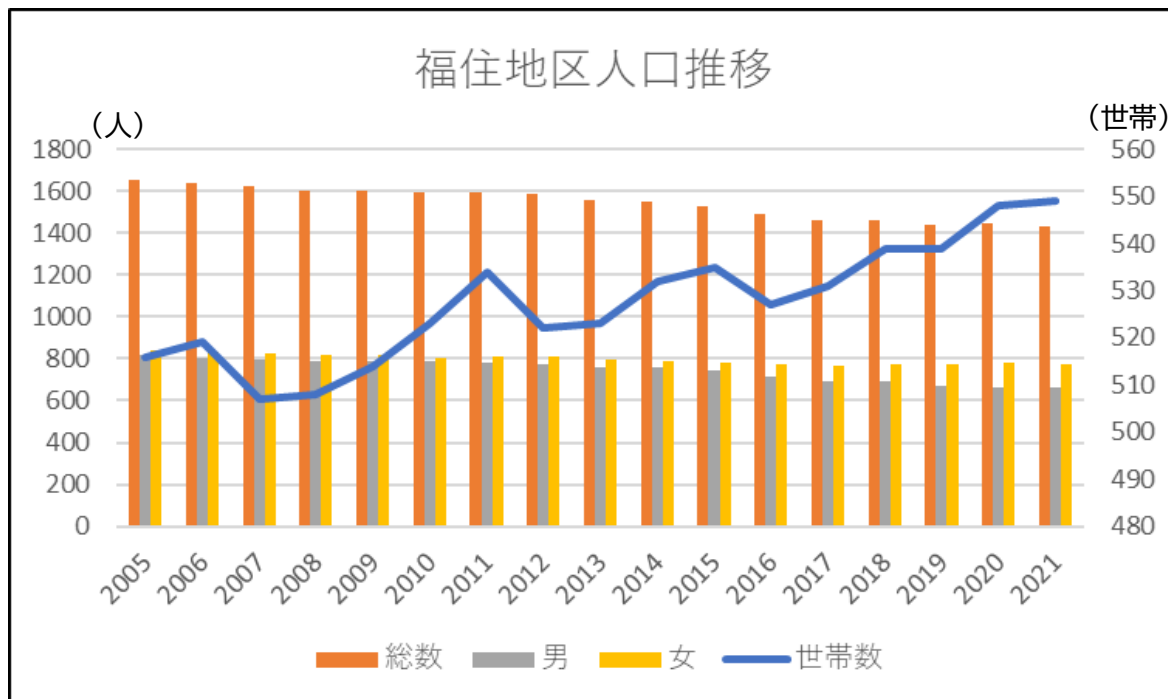
また、生活環境的にも恵まれており、コミュニティセンターを中心に医療機関、福祉施設、スポーツ施設、温泉、自己を見つめる空間齋藤隆夫記念館「静思堂」、地域交流施設「一輪亭」などがあり、地域の人々の交流を支えている。

人々の結びつきも強く、様々な活動を通して交流が行われている。大変人情味にあふれた地域である。

### 3. 福住地区の現状と資源・課題

#### (1) 人口

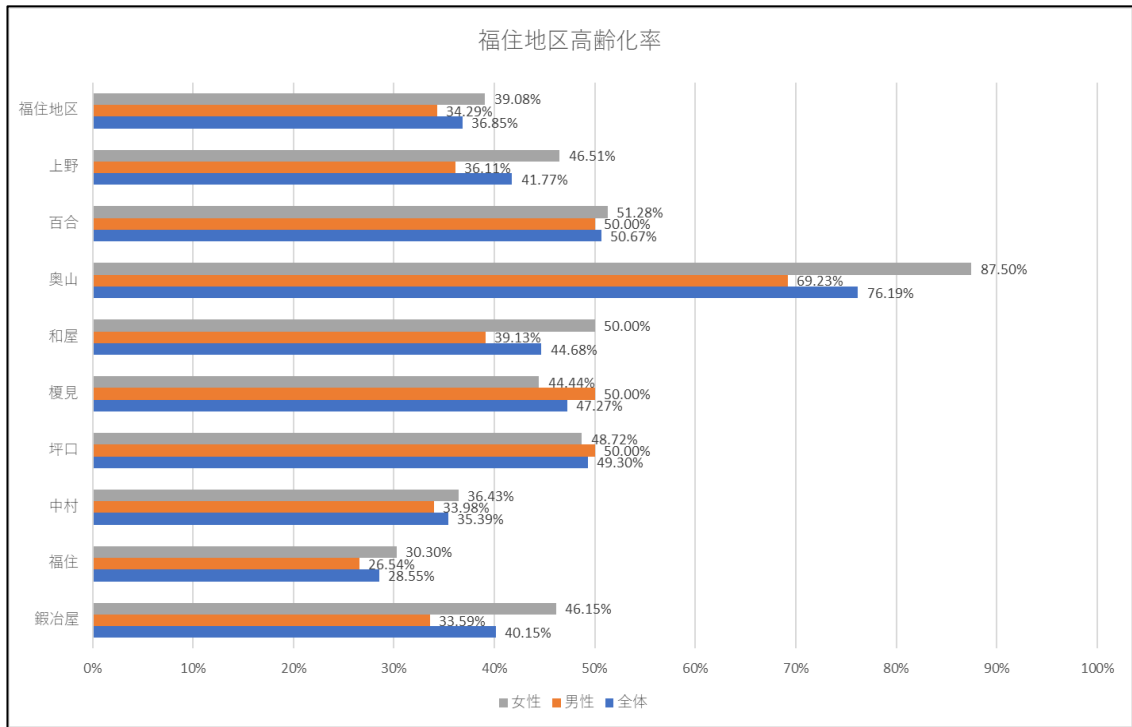
福住地区の住民基本台帳による人口とその推移は以下の通りです。



(各年4月30日基準日)

福住地区としては、人口は減りつつも世帯が増えている状況にあります。具体的には、人口総数は2005年から2021年にかけて約200人減っています(2005年当初から約13.4%減)が、世帯数は約30世帯増えています(2005年当初から約6.4%増)。ここから、人口減少と共に世帯ごとの少人数化が進んでいることが分かります。また、出石町全体(精和園を除く)の人口総数の推移は、2005年から2021年で約18%減少しているため、出石町全体との比較においては、福住地区の人口減少率は低いことが分かります。男女比は2005年ではほぼ同人数であったのが、2021年では約100人近く差がついており、男性の人数の減少率の方が高いことが分かります。

次に2022年4月30日における住民基本台帳による高齢化率は以下の通りです。



上図のように区によって大きなばらつきがあります。特に、実数の少ない奥山区においては、男女ともに他区と比べても数値が大きく、女性は 87.5%が高齢者となっています。一方で、実数の多い福住区の高齢化率は低く、男性は特に約26%と令和 2 年国勢調査による日本全体の高齢化率 28.6%より低くなっています。上記の点から、福住地区内でも各行政区で状況は全く異なり、課題等の差があるであろうことがうかがえます。

福住地区全体としての数値 36.85%は令和 2 年国勢調査による豊岡市全体の高齢化率 34.3%より若干高いですが、そこまで大差はなく、市内の平均的な地区の年齢における人口比率となっています。

(2) 主な施設等

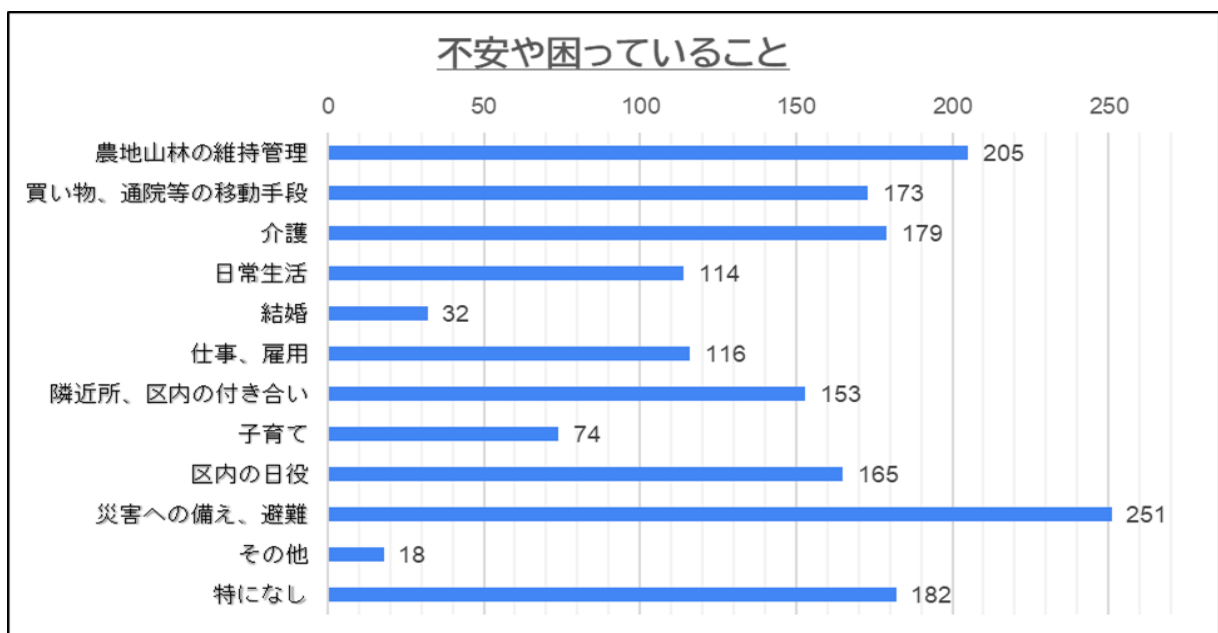
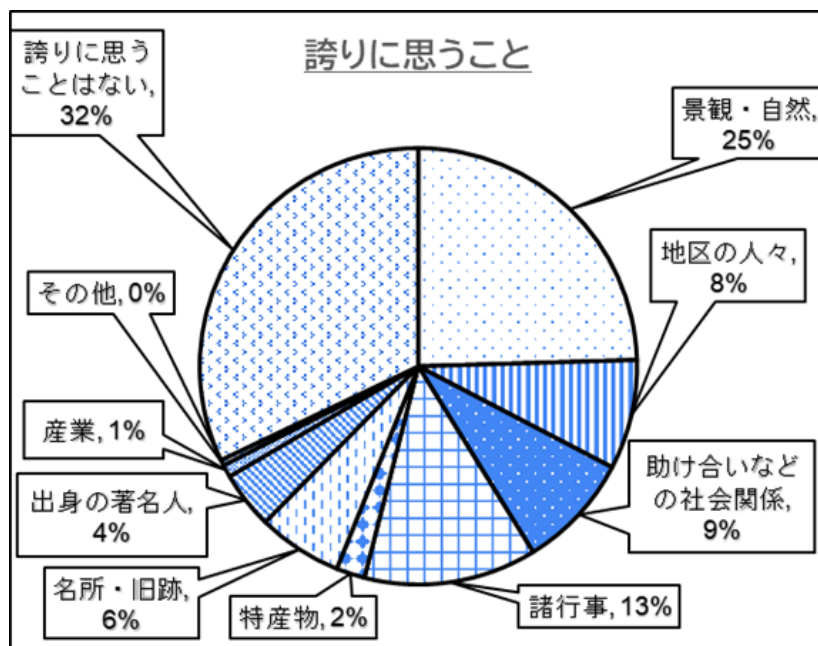
福住地区内には以下の通りの主な施設があります。

主な施設	
福住地区コミュニティセンター／出石健康福祉センター／出石総合スポーツセンター／出石多目的屋内運動場／出石 B&G 海洋センター／出石荘／出石福住防災公園／福住小学校／公立豊岡病院 出石医療センター／静思堂／一輪亭／鍛冶屋郵便局／グランピング施設「温泉のノ森」	
診療所	公共交通
出石医療センター／平井医院／やまけい眼科	全但・出石豊岡線・出石八鹿線 チクタク奥山

幼稚園		小学校		中学校	
名称	人数	名称	人数	名称	人数
福住幼稚園	17	福住小学校	85	なし(出石中学校区)	—

### (3) 資源・課題

2021年8月2日～8月20日に福住地区にお住いの中学生以上を対象としたアンケートを実施し、地域の資源(誇りに思うこと)や課題(不安や困っていること)について以下の通りの回答をいただきました。





## 区ごとの不安や困っていること

### 鍛冶屋

鍛冶屋	実数
災害への備え、避難	53
特になし	40
介護	29
買い物、通院等の移動手段	28
農地山林の維持管理	23
隣近所、区内の付き合い	23
区内の日役	22
子育て	21
日常生活	20
仕事、雇用	14
結婚	7
その他	6

### 福住

福住	実数
災害への備え、避難	83
介護	67
特になし	67
隣近所、区内の付き合い	66
区内の日役	53
買い物、通院等の移動手段	49
仕事、雇用	41
日常生活	39
農地山林の維持管理	35
子育て	24
結婚	9
その他	4

### 中村

中村	実数
災害への備え、避難	37
農地山林の維持管理	35
区内の日役	33
特になし	29
買い物、通院等の移動手段	28
隣近所、区内の付き合い	28
介護	26
仕事、雇用	20
日常生活	13
子育て	10
結婚	6
その他	3

### 坪口

坪口	実数
農地山林の維持管理	26
災害への備え、避難	20
介護	16
買い物、通院等の移動手段	13
区内の日役	11
日常生活	9
仕事、雇用	9
特になし	8
隣近所、区内の付き合い	6
子育て	3
結婚	2
その他	0

### 榎見

榎見	実数
農地山林の維持管理	18
災害への備え、避難	14
介護	9
区内の日役	9
買い物、通院等の移動手段	8
日常生活	7
仕事、雇用	6
隣近所、区内の付き合い	5
特になし	4
結婚	1
子育て	1
その他	0

### 和屋

和屋	実数
農地山林の維持管理	20
災害への備え、避難	14
買い物、通院等の移動手段	9
介護	9
隣近所、区内の付き合い	7
特になし	7
子育て	6
区内の日役	6
日常生活	3
結婚	3
仕事、雇用	2
その他	1

### 奥山

奥山	実数
買い物、通院等の移動手段	7
災害への備え、避難	6
農地山林の維持管理	5
日常生活	5
仕事、雇用	5
介護	4
区内の日役	3
隣近所、区内の付き合い	2
結婚	1
その他	1
特になし	1
子育て	0

### 百合

百合	実数
農地山林の維持管理	32
買い物、通院等の移動手段	22
区内の日役	17
災害への備え、避難	17
日常生活	15
介護	14
隣近所、区内の付き合い	13
仕事、雇用	11
特になし	7
子育て	6
結婚	2
その他	2

### 上野

上野	実数
特になし	13
農地山林の維持管理	11
区内の日役	10
買い物、通院等の移動手段	9
仕事、雇用	7
介護	5
災害への備え、避難	5
日常生活	3
子育て	3
結婚	1
隣近所、区内の付き合い	1
その他	1

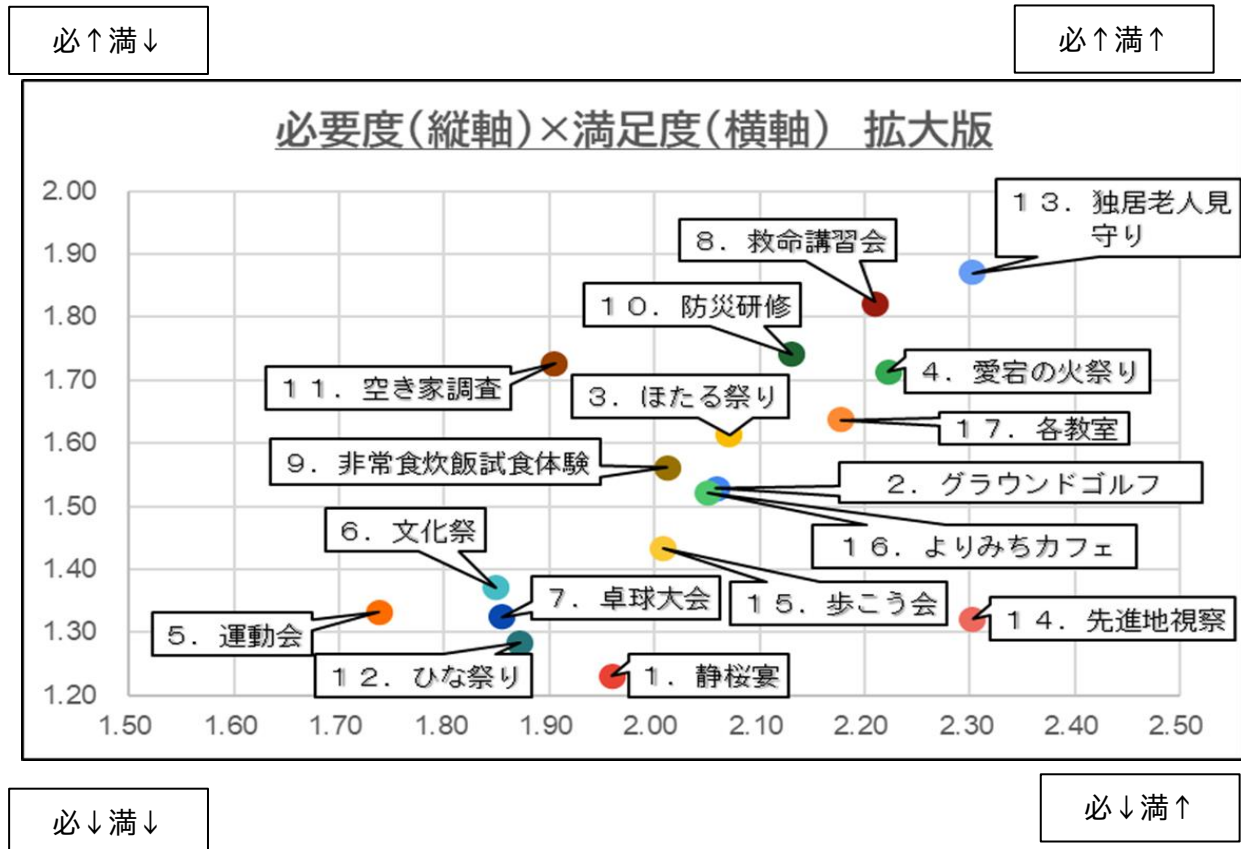
資源については、景観や自然に誇りを持っておられる方が25%いる一方、特に誇りに思うことはないという回答が約30%ある状況となっています。

課題については、災害への備え、避難が一番多く、ついで農地山林の維持管理が多くなっています。区ごとでの課題を見ると、人数の多い区が水害の被害に合いやすく、不安に思っていることが分かります。

## 4. 取り組む活動や事業について

### (1) 既存事業の精査

福住ふれあい協議会では、多くの事業を実施してきていますが、それらの住民さんの満足度や必要度についてアンケートを実施しました。以下がその結果です。



独居老人見守り事業が必要度も満足度も高い一方で、運動会が必要度満足度も低いことが分かりました。また、空き家調査は、必要度は平均以上であるものの満足度は平均より低く、必要であるが満足していないことが分かりました。満足度や必要度が低いものについては、今一度事業の内容を検討しなおす必要があることが本アンケートで見えてきました。

### (2) 新規取り組みアイデア

既存事業の精査の一方で、地域資源や課題に対する取り組み新規アイデアの検討を地域づくり計画検討委員で進め、以下の通りたくさん取り組みアイデアを出していただきました。

### (3) 課題・魅力に関するコメント、アイデア一覧 (次ページ)

課題 魅力	コメ ント	ア イ デ ア
課題	台風時における被害の程度予測 例:川が氾濫したらどうなるのか	防災訓練の充実
課題	災害時の避難ルート	区の合併 別の都市と合併する
課題	水害被害	国の制度、県の制度、市の制度
課題	空き家が状態の良い時に譲渡されない(朽ちてからでは誰も使えない) 空き家が多い	空き家バンクの設立(作る)
課題	空き家の処分	空き家バンク(市のものを利用する)
課題	避難時の在宅人数不明	
課題	空き家が多い	
課題	大雨時の内水問題	
課題	空き家(倒壊)	古民家の再生
課題	空き家、相続放棄された家屋(山林、田畑共)	
課題	中山間地の為の自然災害、豪雨災害や山崩れ	
課題	ハザードマップ上に逃げる場所がない	安全な集合避難場所を考える
課題	逃げる時期がわからない	
課題	公民館で備蓄している非常用(防災用品)の量	防災用品の見える化、定期的な見直し
課題	災害への備え	地域での助け合い
課題	夜間・早朝に出る害獣(熊)	
課題	日中、災害がおきても高齢者ばかりで安全な非難が困難	
課題	近くの避難場所より、自宅にいたほうが安全なことがある	
課題	避難場所がない、避難場所への移動が困難	
魅力	自然災害が少ない	
課題	日役が年齢で重荷になってくる	時間とともに日役減らす
課題	日役が多い	作業別に分けて考える。今は後の一杯が美味しい、楽しいけど
課題	福住地区と一括りにできない	
課題	急傾斜工事最低5戸が必要(現在10戸)	
課題	日役が多い	合併したら(他、市町の地域と)日役にも来てくれる!?
課題	日役が多い	お金く人
課題	役員のなりて	
課題	後継者不足	都会の人をイベントに呼ぶ(日役をやってもら)
課題	村の日役の維持・管理ができなくなる	
課題	村の日役ができない	
課題	村の日役が出来なくなり、お宮さんや墓地など草だらけ	
課題	役の引継ぎがあいまい	
魅力	田植えに、稲刈り。四季がはっきり	農業体験(魅力を知ってもらって住んでみたいな)
課題	交通手段の不足(高校のバスも途中で送り迎え、最終20:00早い…夜はタクシーも少ない)	タクシーチケットの無料配布
課題	60歳以上の仕事	シルバーの活用(野菜作りをしている)
-		農産物の直売所
課題	農地管理	田畑、山林など共同で管理
課題	若者の雇用と企業がない(魅力ある企業)高学歴、大学など卒業した後魅力的な就職先がない	企業の説明会など豊岡市として行っておられますがもっと積極的に企業アピールをやって欲しい。そして魅力ある企業の誘致活動を市としてやって欲しい
課題	老いないために仕事を続けたいが、適当なものが少ない(適度な仕事を作れないか)	
課題	近くスーパーなどの買い物出来る場所がない	コープの宅配を利用してはどうか
課題	山林維持管理	森林に税金を入れる
課題	畑や田んぼを耕作する人がない(荒地になっていく)	畑や田んぼの担い手に、もう少し手厚い支援、協力を!(手伝ってほしい)
課題	植林をしているが、伐採をしてくれる人がいない	山を管理してくれる人がいたらいい
課題	農地はあるが、田んぼや畑をすることができず荒れている 農地(田畑)の耕作者が高齢者ばかり	畑をしたい人に貸し出せばいい
課題	通学・通勤の不便さ	
課題	山の整備ができない、人員不足・資金不足	
課題	耕されていない田が増えていく	
課題	安定した仕事(収入の元)	企業の誘致で若者がこの地に定着
課題	仕事の選択	
課題	山林保全	
課題	放棄田畑	地域ごとの課題や検討している解決策の情報共有化
課題	自己所有の山林、田、畑の維持	お金がいるが、山を維持管理して活用できるようにする
課題	獣害(熊)	災害対策にもなる
課題	介護による助け合い	
課題	年齢が上がるに従って、老親の世話に負担を感じる(結構体力が必要)	介護の悩みについて、村の中にシェアハウスを作ってみんなで助け合えないだろうか

課題 魅力	コメ ント	アイ デ ア
課題	買い物ができる場所が家から遠い。店がない	
課題	買い物などの手段(老人)	
課題	車の運転は何時までできるのだろうか(車がないとどこにも行けない)	
課題	親の介護(2件)	地域での助け合い
課題	免許返納後の移動	
課題	交通手段	
魅力	交通の足	ルールをかえる(どこでもバスが走れるように)
課題	独居老人が多く介護する人がいない(介護力の弱さ)	
課題	交通手段の不便さ	
課題	病院(通院)など遠いため不便である	
課題	通学路の歩道が狭い、草が生い茂っている	
魅力	ほたる みずがきれい	子育て世代、福住校区として、山登り、餅つき、焼き芋体験など子供も大人も楽しめる企画
魅力	出石の秋祭りがいい	子育て世代、福住校区全体でできるキャンプなどのアウトドアイベント
課題	若い人が少ない	大学生にお昼御飯と交換に呼ぶ
課題	近所に子供の遊び場がない 子供たちの遊ぶ場所があればいい(近所に)	歩いて行ける所に、子供の遊び場を作る(同じ年代の人がいるところ)
課題	子育て 地区に子供が少ない	3・4人目の子供の養育費1000万支給
魅力	子供の世界があった	
課題	区内の小さい子供との親しむ時がない	
魅力	ほたる	
魅力	ほたる祭り	
課題	子供が少なくなってくる	
課題	各公民館遊具の整備(安全面・子供が少ない)	
魅力	ほたる	ドキュメンタリーを作る
課題	子供たちに(少子化)伴い、通学時大人が付き添っているが安全とは言えない	
課題	近所に子育て世代が少ない	
魅力	子供たちのスポーツ推進クラブ	
魅力	市外からも来る大会、開催する	スポーツ大会の誘致
魅力	お宮さん(氏宮)の石段(150段)朝の散歩に良い	
魅力	B&G プール、野球場、陸上、サッカー	
魅力	スポーツ施設がある	
魅力	奥山地区には昔釜山があった	SNSの活用
魅力	あたごの火祭り	#兵庫、豊岡いろんなタグを入れる
魅力	お米と野菜、魚が新鮮でおいしい	新しい食べ方の提案
魅力	愛宕の火祭り、だんじりまつり	地域の中では限界があるので福住校区として楽しめる企画をしてほしい
課題	高齢化が進んでいった際の行事の継続	
課題	祭りの継承	
魅力	齋藤隆夫(政治家)反戦演説	
魅力	伊福部神社	
魅力	たんじり	
課題	結婚が難しい	
魅力	奥山金山があって、1つだけ入れる	
魅力	齋藤隆夫(政治家)反戦演説	歴史の紹介
魅力	昨日、家の裏にうさぎがいた。2m近いアオダイショウも出てくる	毎日ユーチューブ配信できる人がいれば…
課題	少子化	教育費の無償化
魅力	海や山(スキー)が近い。遊びに行ける	ユーチューブで動画配信
魅力	水路にイモリがたくさんいる。沢蟹もすぐ捕れる	外部にアピールする
課題	雇用の職場が少ない	出石に働く場所を!
魅力	そば	TVで紹介
魅力	親がほおっておいた	みんなが貧しくなればよい
魅力	温泉	都会から酸素税をとる(いい空気を味わえるから)
魅力	助け合いがあたります	都会との交流
課題	活用しても若い人がいない(管理でもない)	働く場所
課題	農業	ネットを使って募集する
課題	田んぼの処分	特区で就労時間の制限がない
魅力	子供達でルールをつくっていた	これからの人のために仕組みを作っておく
課題	各連絡事項が伝わりにくい	

課題 魅力	コメント	アイデア
課題	行事が多すぎ	
課題	高齢化	
課題	施設を増やして欲しい	
課題	お金を安くしてほしい	
課題	これから増えていく	
課題	学校がない(送迎の関係)	
魅力	温泉施設	
魅力	火祭り	
魅力	朝焼け、夕焼けのときの田んぼは美しいと思う	子供にも見てもらえる
魅力	桜	ユーチューブ配信
課題	働く人が少ない	
課題	病院が少ない	
課題	60歳以上の仕事	男女で役割が分かれていて活発
課題	燃料費高騰	
魅力	観光地	SNSでアピール
魅力	田んぼ	ほたるの養殖 豊岡も養父市のように
魅力	お蕎麦がおいしい、リピーターがある	
課題	村の人数が少なくなる	
課題	10年たつと今の老人は亡くなりその後の人々は70歳以上になる	
課題	婦人会に入会しているが、高齢者ばかり	
課題	結婚していない男性も多く婦人会の継続が困難	
課題	地域内の少子高齢化(若い世代が減少)	
課題	若い世代が少数派にならざるを得ない	
課題	若い人たちの意見が言いにくい	
課題	小学校が統合され、複式学級が多くなる	
課題	学校の統合で福住に学校がなくなる	
課題	家を継いでくれる子がない	
魅力	近所付き合いが良い。皆が親切	
魅力	コミュニティが続いている。仲が良いと思う	
魅力	季節の食べ物(畑でとれたもの)が食べられる	
魅力	そばが名産	
魅力	出石そばがおいしい	
魅力	但馬牛の生産地	
魅力	行く町としては自然、お祭り、そば、但馬牛などあり魅力があるが…	
魅力	子供が増えてきた	
魅力	こうのとりが飛ぶ田んぼ	
魅力	海・山が充実している。香住や氷ノ山	
魅力	伊福部のどうだんつじ	



## 5. 福住地区の将来像

福住ふれあい協議会では、設立当初より以下の将来像を掲げて活動してきました。

### 「夢と希望 あふれるまちづくり

### いつまでも住み続けたい福住地区」

福住地区の現状や地域にお住いのみなさんが感じている資源・課題を基に上記の将来像に近づいていくことのできるように次項以降のとおり取組みについてのロードマップを作成しました。

以上の既存事業と新規取り組みアイデアを基に、以下の通り10年間で行うロードマップを作成しました。

目指す姿	分野	分野ごとの 目指す状態	課題・資源	いつや?	
				すぐやる(検討する)	3~5年後にやる(検討する)
夢と希望あふれるまちづくり いつまでも住み続けたい福住地区	安心安全	安心して暮らせ 土砂災害・水害・犯罪のない地区	公民館で備蓄している非常用(防災用品)の量	防災用品の見える化、定期的な見直し	
			災害への備え	地域での助け合い	
			地域課題の解決に関する情報が少ない	先進地視察	
			災害への備えを勉強する場がない	非常食炊飯試食体験 防災訓練	
			救命方法を知らない人が多い	普通救命講習会	
			台風時における被害の程度予測 例:川が氾濫したらどうなるのか		防災訓練の充実
			ハザードマップ上に逃げるところがない		安全な集合避難場所を考える
			空き家の実態の把握ができていない		
			空き家が良い時に譲渡されない		
			空き家の処分		
			空き家(倒壊)		
			生活環境	困りごと 生活のしづらさ 交通弱者 高齢者にも優しく気軽に集まれる場所のある地区	独居老人の見守りができていない
	家に眠っているお雛様	福住ふれあい「ひな祭り」			
	親の介護(2件)	地域での助け合い			
	獣害(熊)	獣害の調査(しか・くま・ハクビシン)			
	放棄田畑	地域ごとの課題や検討している解決策の情報共有化			
	近くにスーパーなどの買い物できるところがない				コープの個配を利用してはどうか
	年齢が上がるにしたがって、老親の世話が負担				
	田植えに、稲刈り。四季がはっきり				
	交通手段の不足				
	60歳以上の仕事				
	60歳以上の仕事				
	農地管理				
	若者の雇用と企業がない(魅力ある企業)				
	山林維持管理				
	畑や田んぼを耕作する人がない(荒れ地になっていく)				
	植林をしているが、伐採をしてくれる人がいない				
	農地はあるが荒れている。耕作者が高齢者ばかり				
	安定した仕事(収入の元)				
	自己所有の山林、田、畑の維持				
	交通の足				
	人材育成・人づくり	あう地区と優しさを 作りを 目指す 地区民が世代を超えて交流 親睦を深め心 なれ	愛宕の火祭り	ハッシュタグ兵庫、豊岡色んなタグを入れる	
			愛宕の火祭り、だんじり祭り	地域の中では限界があるので、福住校区として楽しめる企画をしてほしい	
			世代間の交流が少ない	福住ふれあい運動会	
			地区民の交流が少ない	グラウンドゴルフ大会	
			地域人材の技能の発表の場がない	福住ふれあい文化祭	
			地区民の交流と親睦が少ない	福住ふれあい卓球大会	
			市外からも来る大会、開催する	スポーツ大会の誘致	
			ほたる、水がきれい	子育て世代、福住校区として山登り餅つき、焼き芋体験など子どもも大人も楽しめる企画	
			出石の秋祭りがいい	子育て世代、福住校区全体でできるキャンプなどのアウトドアイベント	
			ほたる、里山	ほたる&こども祭	
			近所に子どもの遊び場がない		歩いて行けるところに、子どもの遊び場を作る
若い人が少ない				大学生のお昼ごはん交換に呼ぶ	
ほたる				ドキュメンタリーを作る	
子育て 地区に子どもがいない					
奥山地区には昔鉱山があった					
お米と野菜、魚が新鮮でおいしい					

やるか		課題解決・資源活用後の姿	部会	備考
5年後以降にやる(検討する)	いったん置いておく			
		防災用品がきちんと整理され、有事の際に使えるようになっている	安心安全部	一緒に行くことも検討
		災害時に地域で助け合っている		
		地域課題の解決につながる情報をつかめている		
		災害への備えについて勉強する場がある		
		救命救急法を知っている人が増えている		
		災害時の想定ができています		
		自分たちで考える避難場所ができています		
	空き家調査	—		
	空き家バンクの設立(作る)	—		
	空き家バンク(市のものを利用する)	—		
	古民家の再生	—		
		独居老人の見守りができている	生活環境部	このふたつはセットで サロン等で勉強会 災害対策にもなる 調査を実施 情報共有 介護の勉強、施設について知ってもらう
		地域に眠っている資源を活用できている		
		地域で助け合える関係が構築できている		
		獣害の基礎データが揃っている		
		課題に対する対応策を地域内で共有できている		
		買い物に不自由なくできている		
村の中にシェアハウスを作ってみるで助け合えないだろうか		助け合う場の構築ができています		
	農業体験(魅力を知って住んでみたいなー)	—		
	タクシーチケットの無料配布	—		
	シルバーの活用(野菜作りをしている)	—		
	農産物の直売所	—		
	田畑、山林など共同で管理	—		
	豊岡市として積極的に企業アピールをしてほしい。企業の誘致活動をしてほしい	—		
	森林に税金を入れる	—		
	畑や田んぼの担い手に、もう少し手厚い支援、協力を！(手伝ってほしい)	—		
	山を管理してくれる人がいたらいい	—		
	畑をしたい人に貸し出せばいい	—		
	企業の誘致で若者がこの地に定着	—		
	お金がいるが、山を維持管理して活用できるようにする	—		
	ルールを変える(どこでもバスが走れるように)	—		
		地域の魅力がSNSを使って多くの人の手で発信されている	人づくり部	氏子を取っ払って誰でも参加できるように負担がかからないように内容修正 フリマ等も実施他 文化祭と収穫祭を兼ねて行う 静思堂の駐車場でアウトドアイベント(水、トイレあり) ミニSLなど
		地域の魅力が様々な人の手によって続けられている		
		世代間の交流ができています		
		地域内の交流ができています		
		地域の人の得意なことを発表する場が提供されている		
		地域内の交流ができています		
		地域外の方も来ることができるようなイベントが開催されている		
		地域の資源を使って地域の人を楽しんでいる		
		地域の資源を使って地域の人を楽しんでいる		
		地域の資源を使って地域の人を楽しんでいる		
		近くに子どもが安心して遊べる場がある		
		地域外の若い方との交流が増えている		
		地域の魅力が発信されている		
	3・4人目の子供の養育費1000万円支給	—		
	SNSの活用	—		
	新しい食べ方の提案	—		

## 6. 今後の課題

本計画では、地域の課題や資源の洗い出しからそれらに対応する取り組みのロードマップ化まで行い、現在の体制で実施できる取り組みを来年度実施していくこととしました。一方で、短期での事業では難しい課題などもあり、それらに対応するための組織体制の検討も必要であることが分かりました。具体的には、福住ふれあい協議会の組織体制では毎年部員の方が多数変わっており、多くの方に福住ふれあい協議会の事業やイベントに触れていただく機会がある一方、長期的なプロジェクトに対応しうる体制となっていないため、一過性の盛り上がりとなってしまう等のデメリットがあります。その両方をカバーするために、現在の部会制を置きつつも長期的に特定の課題だけに対応する、任期を指定しないプロジェクトチーム等の新たな設置の検討が今後の課題として挙げられます。

また、福住ふれあい協議会の取り組みや福住地区の風景・自然・出来事などを発信していく情報発信事業についても多くの意見が出ました。地域内のコミュニティ新聞だけではなく、ソーシャルネットワークシステム(SNS)を用いた発信なども行うことで内外の認知度を図っていく必要があります。現状では、全てを特定の部員・役員・事務局のみが発信していくのではなく、#(ハッシュタグ)などを有効に使いながら、誰でも福住地区や福住ふれあい協議会の情報発信がしてもらえような状況を作っていくことが必要であることが分かりました。

これらを今後の課題として検討を重ねて、より良い福住ふれあい協議会を目指していきます。



新しい地域づくり推進委員会

令和3年度

(敬称略)

委員長	植村 公治	副委員長	榮次 慶記	委員	徳網 幾雄	委員	手塚 義人
委員	川尾 秀一	委員	横山 伸三	委員	成田 里美	委員	水谷 千鶴
委員	中嶋 大輔	委員	福田 稔三	委員	河見 守		
事務局長	齋藤 義規	庶務	川崎 範子	事務	谷原 悦男	事務	芝氏世里子

令和4年度

(敬称略)

委員長	植村 公治	副委員長	榮次 慶記	委員	升田 敏行	委員	柴藤 健夫
委員	足立庄三郎	委員	湯口 博文	委員	横山 伸三	委員	松嶋喜久代
委員	谷原 裕子	委員	小操 祐子	委員	谷原 晴巳	委員	橋本 朋也
事務局長	齋藤 義規	庶務	川崎 範子	事務	谷原 悦男	事務	芝氏世里子



## 7. 参考資料

アンケート調査の結果(本編に載っている資料を除く)

